

ごあいさつ

生涯学習は、一人一人が様々な機会を通じて自ら学び、見識を高めていくことで、自己を成長させることができるものです。また、人生100年時代を見据え、すべての人のウェルビーイングの実現のため、持続可能な社会の創り手の育成のためにも、生涯学習は今後ますます重要になります。

石川県民大学校は、教養・文化・生活・健康など様々な分野において生涯学習の機会を提供しており、平成2年の開校からこれまでに2万1千人を超える方々が修了されています。

令和8年度は、138の県内の市町、大学、文化施設、民間教育機関などのご協力をいただき、780を超える講座を開講します。今年度から25機関が新たに加わり、県民の多様な学習ニーズに応えるとともに、学びの機会をさらに広げます。

さて、能登は今、震災・水害からの創造的復興の歩みを進め、今年は羽咋市南潟地区にてトキ放鳥が行われます。また、昨年「加賀料理」が国無形文化財に登録されました。

いしかわの今を学び、災害の記憶を風化させないため、また私たちの地域と文化の価値を再認識し、理解を深め、その魅力の国内外への発信力を高められるよう、今年度も「ふるさとモット学び塾」を始めとする講座を通じ、多くの県民の皆様「ふるさと石川」の歴史や自然・産業・文化への理解を深めていただけるよう努めてまいります。

県民の皆様方が、関心のあるテーマについての学びを深める場として、石川県民大学校の講座をぜひ受講いただき、地域に根差した活動や心豊かで充実した生活に生かしていただきますことを願っております。

令和8年4月

石川県民大学校学長

石川県知事 山野 之義